



徳永光俊 学長

教育とは、愛と志によって人を、心を育てることです。目先の成果や数値だけにとらわれない考え方を、長期的な視点が必要です。創立80周年を機に、もう一度大経大は学生に何を教えるのか、大経大STYLEを真剣に考え、これまでとは異なる発想の、しっかりとした考えを持って教育に取り組むことが必要です。

そのためには、「そっと手を添え、じっと待つ」ことが大切だと思います。若者たちはみんな可能

そっと手を添え、じっと待つ

長を待ち、これからの日本社会を担おうとする高い志と、あたたかい愛を持った青年を育てていきたいと思っています。

本学の80年の歴史で学生たちに

未来へ

創立80周年を迎えて



4期校舎 2013年8月竣工予定



J館



図書館



学生会館



体育館

勝田泰久 理事長



80周年の記念事業は特に「学生のための事業」を主軸として進めてきました。その一つである7年計画のキャンパス整備は、2014年に完成する予定です。新しい体育館・学生会館はすでに竣工し、充実した教室・ゼミナール室を配備したスチューデントタワーも2013年に完成予定です。また職員が連携しやすいよう事務機能を集約し、教員には新しい研究室を提供する事務研究棟もすでに竣工し稼働しています。

「つながる力」を標榜する大学として、この80周年を機に、教職員と学生、職員と教員、在学生と卒業生、大学と社会がつながる力を、さらに深めていく必要があると思っています。卒業生とのつながりに関しては、私自身が率先して全国の地区の同窓会をまわり、大学

「つながる力」いっそう

と学生、職員と教員、在学生と卒業生、大学と社会がつながる力を、さらに深めていく必要があると思っています。卒業生とのつながりに関しては、私自身が率先して全国の地区の同窓会をまわり、大学

後は一層厳しい経営環境が予想されます。教育機関ですから効率や生産性が全てではありませんが、私自身を含めた理事、幹部の皆さんには、無理・無駄・ムラの排除を強く求めています。

主な記事

contents

- (1面) 創立80周年を迎えて
- (2面) 教育懇談会
- (3面) 大樟祭より
- (4・5面) オープンキャンパス他
- (6面) 創立80周年企画・土居商店街提案他
- (7面) 北浜実践経営塾・スポーツ文化振興室他
- (8面) 黒正塾「第14回寺子屋」開催他

ホームカミングデーを開きます

2012年11月3日(土・祝日) 10:00~15:00(予定)

卒業生の皆さまにおかれましては、お元気で活躍のことと思います。

さて、大阪経済大学では卒業生の皆さまに向けてのイベントとして、秋の大学祭「大樟祭」の日に合わせて、『ホームカミングデー』を開催します。建物の建て替えが進み、昔の風景から生まれ変わりつつあるキャンパスに足をお運びいただき、

恩師や旧友、そして在学生との交流を図る中で、母校との絆を深め、大いに楽しんでいただこうと考えております。

当日は、ゼミのミニ同窓会も予定しています。また、卒業生が集う毎年恒例の「大樟会(同窓会)総会」も同時開催しておりますので、この機会に久しぶりに旧友に声をおかけいただき、共にお気軽にお

越しください。駐車スペースがございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。なお、詳細につきましては、「大阪経済大学創立80周年記念事業ホームページ」(随時更新)などでお知らせいたします。

教職員一同、皆さまのご参加をお待ちしております!

生き方の種まきを 2012年度 教育懇談会

2012年度第25回 大阪経済大学 教育懇談会が、大阪会場(大隅キャンパス)は6月23日(土)、岡山会場(岡山プラザホテル)は6月30日(土)、高松会場(ロイヤルパークホテル高松)は7月1日(日)、京都会場(メルパルク京都)は7月16日(月・祝)に行われ、4会場で計508組・739名の保護者が参加した。

サポート体制を説明

■全体懇談・講演会

大阪会場(大隅キャンパス)では、まず午前10時からD館16教室で「全体懇談」が行われ、オープニングとして本学ギタークラブの学生5名が演奏。そして勝田泰久理事長が、本学の経営、キャンパス整備、学士力や社会人基礎力を培うための教育内容、就職に関するサポート体制の現状と今後の方向性などについて概略を説明。続いて徳永光俊学長が本学の教育の特徴と基本的考え方を解説。「学生に正面から向き合う教育を実現していきたい。そして『我々はいかに生きるか』という根本を考え続けるための種を、ゼミや課外活動を通じてまいていきたい」と決意を述べた。

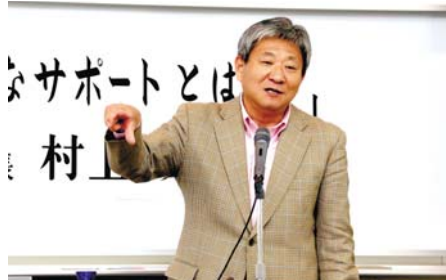


「3・11後」の展望を語る
岡田晃氏

続く「講演会」では経済評論家の岡田晃氏(本学客員教授)が登壇。「震災後の日本経済～子どもたちがこれから羽ばたく社会の状況とは～」というテーマで講演。厳しい経済状況

が続くなかで、本学の学生が社会に出る時期を含む今後の日本経済はどうなっていくのか。現状と期待などについて解説した。

OBの村上文雄氏が講演



■就職シンポジウム

午後2時から同D館16教室で行われた「就職シンポジウム」では、まず橋本浩二進路支援部長が本学の就職実績やサポートについて概略を説明。続いて本学OBで株式会社カース・キャリアセンター代表取締役社長の村上文雄氏が「現在の就職環境における適切なサポートとは？」というテーマで講演。保護者に求められているのは「普段からのコミュニケーション／経験や体験を語る／価値観を押しつけない／他人の目でアドバイスする」といった間接的サポートであると強調した。

就活のコツを先輩が伝授

その後の「学生体験談」では、まずインターンシップ体験について経営学部吉田実緒さんが報告。「卒業後の進路に大きな影響を与

えた。金融機関での就業体験を通じて事務職より営業などの仕事をしたいと思うようになった」と成果を強調した。

続く就活体験談では、まず経済学部の森田竜士さんが、「毎日が苦しく不安だったが、就活は一人ひとり違うため、ノウハウ本に頼らないほうが良い」。また早くから業界研究に取り組み始めたという経営学部の秋元千尋さんは、「自己分析をしっかりと行い、何事も深く掘り下げて考え、面接後には必ず振り返って反省点を改善したことが良い結果につながった」と報告した。

この日は本学心理臨床センターの石野泉カウンセラーによる講演「親子のコミュニケーション」や、急遽開催が決まった「資格講座ガイダンス」、事前申し込みによる「成績懇談」や「就職懇談」、「学生生活相談」や「施設見学」、茶道部と邦楽部による「点出し・邦楽演奏」、写真部による「作品展示」なども行われ、キャンパス内は終日多くの保護者でにぎわっていた。



保護者との個人面談も

学 生 体 験 談

同会場では「学生体験談」も披露された。司会進行はCBS文化放送局の宮本秀平さん(情報社会学部)と木下茉実さん(経営情報学部)。



異杏奈さん

経営学部の異杏奈さんが本学のゼミや自身の研究について説明。「ゼミで膨大な情報を処理する分析能力が培われ、知名度は高なくても伸びる可能性のある企業を選んで就活できた」と報告した。



富山恭平さん

経営学部の富山恭平さんは陸上競技部主将としての体験を披露。「監督の理解のもと授業優先で練習を行っている。体育系クラブの活動と勉強は両立できるのでぜひ応援してほしい」と保護者に訴えた。



佐々木啓太さん

落語研究会の主将で人間科学部の佐々木啓太さんは文化系クラブと下宿生活について報告。「大経大の文化系クラブは他のクラブとの横のつながりを大事にしている。多くの知り合いを作るので人脈が豊かになる」。また下宿生活については「自由度が高く遊びがちなようになるような心配をされるが本人次第だ」と話した。



山崎翔子さん

「旅行業務取扱管理者」の資格を取得した経済学部の山崎翔子さんは、資格取得に関する本学のサポート体制などを紹介。「興味ある分野を学ぶことは楽しく、挑戦することの大切さを学んだ。やってみたいことがあるれば何でも挑戦してほしい」と後輩にアドバイスした。



小林弓恵さん

経営情報学部の小林弓恵さんは、アメリカ・メンフィス大学への留学経験について報告。「コミュニケーション能力・語学力が身につく達成感を味わえた。新興国からの留学生との交流で勉強に対するアグレッシブな姿勢を学べた」と海外留学の意義を強調した。

DAI KEI DAI

就職支援

企業の人材教育担当者がバックアップする
「就活実力養成特訓講座」を開講

いよいよ3回生の就活が本格始動！
2日間の特訓合宿に学生50名が参加

新入社員教育をベースにした 就活特訓合宿プログラム

9月18、19日の2日間にわたる合宿形式の「就活実力養成特訓講座」がスタート。合宿内容は、これから就活のスタートを切る3回生を対象とした短期集中型講座です。

大手企業の人材教育担当者の全面協力のもと、実際の就職活動で体験する会社説明会・企業研究・グループ発表・模擬面接など、リアルさを重視した1泊2日のプログラムで行います。

この講座では、実際の企業の人材教育担当者が講師を務め、新入社員研修さながらにマナーや心構えを学ぶほか、公開模擬面接、採用担当者による面接

対策講座など、密度の濃い研修にチャレンジしていきます。

参加者は、エントリーシートをもとに本気で就活に取り組む意識の高い学生50名を選抜し、働くことへの意識づけと就活を始めるにあたってゴール設定を明確にし、これからの就職活動につなげていきます。

ただしこの合宿はスタート地点であり、「企業の目線」や「働くこと」を知って、厳しい就職活動の中に飛び込んでいく学生達のモチベーションを内定獲得までいかに持続させていくかが大きな課題です。

大経大の進路支援センターでは、個別面談や各種セミナーなどできめ細かいサポートを充実して、学生の就活を支援しています。

大樟会だより

休眠支部の再活動を進める

2012年度理事会

平成24年度同窓会理事などの理由で辞任された会が5月26日午後からE館で、理事総数160名中、出席98名、委任状提出45名の計143名で開催された。

はじめに昨年の物故者へ全員で黙祷を行った。

ついで田村正晴副会長が各回卒の新理事の出席に感謝し、開会を宣言。また事務局から健康上

同窓会名「大樟会」と改称

佐藤武司同窓会長は「80周年記念事業のキャンパス整備計画も着々と進み、最終段階のシンボルタワー棟の建設が始まりました。2年半後に完成しますが高さ45mで地域の方はもとより新幹線の方からもハッキリ見え、本学の大きな広告塔になります。」

80周年記念式典は10月1日に挙行されますが、募金の締め切りは来年の3月末までで募金の口数を増やしたいです。今一度、周囲でまだの方がおられたら声をかけてください。

スポーツ文化振興室とさらに協力を

2012年度大樟体育会総会開催

第11回大樟体育会総会が4月28日(土)、同窓会ホールで開かれた。出席クラブは全34クラブ中23、欠席は11クラブだった。

はじめに下垣恒彦会長が日ごろの各クラブ活動

に対してお礼を述べ、「総会には全クラブが出席していただいて話し合いをするのがベストです。2012年度のスポーツA入試枠75名は堅持していく。またマナーアップキャンペーンは積極的

に参加するクラブが増えています。創立80周年記念募金に当会から20万円協賛しました」とあいさつした。

同窓会を代表して佐藤武司会長は「80周年記念募金は体育会への使用方



下垣恒彦会長があいさつ

だ。学生さんの就職状況は今年も悪いという一言ですが、こういう時こそ皆さんの企業で経大生の採用をお願いしたいと思えます。同窓会と大学は決して対峙することなく、今後ともより生産的な関係を創っていきたくと考えます」と述べた。

一方、組織部では休眠支部として大阪市支部の細分化をはじめ滋賀、鳥取、島根支部の再建を進める提案に対し、平尾哲男理事(28回)から大阪市支部の細分化案が出ており、事前連絡もないが、と反論があり、組織部長が陳謝した。今後は十分相談をして進めていく。

支部再建は同窓会の活性化に必要という見解も示した。

収支予算では会費収入が安定化に戻った経緯が説明された。80周年募金は計上されていない点につき、佐藤会長は「陶板のボードを約1千万円かけ作成し寄贈する。また25年度への次期繰越がマイナスでは不自然との指摘に、特別基金2千万円を1千万円に減額訂正しあとは調整する案で承認を得た。

第2部では来賓あいさつで勝田泰久理事長が「80周年記念事業は同窓生の皆さんの協力で順調に進んでいるものの、学生の就職状況が悪く、われわれの力不足を感じています。大学の使命は学生に知力、気力、耐力を教え夢と希望の実現を支

援していくことです。原点に戻り建学精神を伝えたい」

徳永光俊理事長は「最近、経大生のいい話が一般新聞によく取り上げられます。いいことです。私の部屋から大樟の木が見えますがこの時期今一度原点に戻り、建学の精神「天地は道理を貫く」とは何かを学生に教え、伝えたい」と建学の理念を述べられた。

第3部の懇親会は100名以上の参加者で盛り上がり、理事会は終了した。

記念講演会

*講師：中村 雄二 先生

前・駐イタリア特命全権大使
現・大阪経済大学客員教授

*テーマ：

「欧州通貨危機と日本外交」

ギリシャに端を発した通貨危機が広く欧州全域に拡散したことは今年の世界ニュースの1つです。アメリカや日本への影響も大きく、経済環境の変化はこの先も不透明です。中村雄二先生は長年にわたりヨーロッパを中心に各国の総領事や全権大使を務められました。外交官としての高い見識から時宜を得たお話を聞かせていただきます。

お問い合わせ

大阪経済大学「大樟会」

TEL：06-6328-2431

FAX：06-6328-4564

E-mail：denko@osaka-ue.ac.jp

2012年

「大樟会」総会

に参加しよう!

同窓生の皆さん、お変わりございませんか。母校創立80周年の今年、メモリアルとなる同窓会総会がやってきました。

11月3日(土・祝)あなたのお元氣な顔をぜひお見せください。

11月3日(土・祝) ※受付10:30～

●総会&「大樟会旗」旗びらき

11:00～12:00 70周年記念館フレアホール3F

●記念講演会

12:00～13:00 70周年記念館フレアホール3F

詳細は右記ご参照

●懇親会

13:30～15:30 学生会館2F

※会費＝お一人¥3000(今年の卒業生は¥2000)

DAI KEI DAI

ニュース



陸上部 全日本大学駅伝対校選手権大会 関西予選3位



6月3日西京極陸上競技場で、全日本大学駅伝対校選手権大会関西予選が行われました。

結果は、総合3位を獲得し3年ぶり18回目の全国大会出場を決めました。11月4日に開催される全日本大学駅伝対校選手権大会(熱田神宮～伊勢神宮)に出場します。

皆様のご声援をよろしくお願いします。

準硬式野球部 全日本選手権大会ベスト4

第64回全日本大学準硬式野球選手権大会で準硬式野球部がベスト4になりました。対戦相手と戦績は次のとおりです。

- 1回戦 8/27 (月) 大阪経済大学 3-2 東北学院大学
- 2回戦 8/28 (火) 大阪経済大学 1-0 愛知学院大学
- 準々決勝 8/29 (水) 大阪経済大学 4-3 同志社大学
- 準決勝 8/30 (木) 大阪経済大学 1-2 中央大学

弓道部(女子) 全日本学生弓道選手権大会ベスト8

第60回全日本学生弓道選手権大会で弓道部(女子)がベスト8になりました。対戦相手と戦績は次のとおりです。

- (1回戦 不戦勝)
- 2回戦 大阪経済大学 10中 慶応義塾大学 8中
- 3回戦 大阪経済大学 6中 日本大学 8中

創立80周年記念事業の一環として、今年度も記念講演会を開催しました。

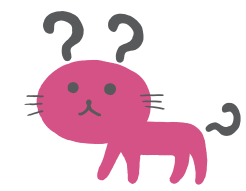
第1弾は、本学が持つ4学部(経済学部・経営学部・情報社会学部・人間科学部)による連続講演会を開催しました。各学部で設定した共通テーマのもと、各学部代表2名の本学専任教員が自身の専門分野に関して、独自の視点での講演を行いました。

創立80周年記念講演会【第1弾】 4学部セミナー



	日時	テーマ・講演者
第1回	6月16日(土): 経済学部 共通テーマ「グローバル経済と人材育成を考える」	グローバル時代における日本の産業・企業のゆくえ 吉田 秀明 経済学部経済学科 准教授 ピースフル・グローバル化のすすめ 鈴木 隆芳 経済学部経済学科 准教授
第2回	6月23日(土): 経営学部 共通テーマ「経営の法的環境を考える」	コーポレートガバナンスの哲学 井形 浩治 経営学部ビジネス法学科 教授/学部長 ガバナンスをめぐる会社法改正の動向 池島 真策 経営学部ビジネス法学科 教授/副学部長
第3回	7月21日(土): 情報社会学部 共通テーマ「情報化社会と技術を考える」	被服・環境から人の心と行動を見る! 家本 修 情報社会学部情報社会学科 教授/学部長 技術立国日本の起・ベリ来航から半導体産業凋落まで 高松 亨 情報社会学部情報社会学科 教授/副学部長
第4回	7月28日(土): 人間科学部 共通テーマ「現代の社会意識 —社会的分析」	社会学からみる現代日本の階層意識 石田 淳 人間科学部人間科学科 准教授 社会学からみる現代ドイツの民族意識 城 達也 人間科学部人間科学科 教授/学部長

在学生在が熱烈アピール



2012年度 オープンキャンパス



2012年度オープンキャンパスの第1回が7月20日(日)、午前11時から本学・大隈キャンパスで開かれた。B館前の受付には、開始時間前から続々と高校生グループや同行の保護者が訪れ、この日の参加者は1260名。それぞれの説明会やイベント会場は終日、真剣な表情の高校生たちの姿でにぎわっていた。

全体説明会

まず全体説明会が、B館1階の講義室で行われ、人間科学部の協賛生さん(3年)が、オープンキャンパスの過ごし方・楽しみ方などを、説明会型・個別相談型・見学型・体験型の4種類のプログラムで紹介。新しい学生以外で足踏み入れ

大学紹介・入試説明会

続く大学紹介・入試説明会では、入試部の職員が本学の学部構成や学生数、80周年を記念した新しい施設・就活に関する情報を説明した。

学部・学科説明会

その後は、本学が実施する一般入試(A・B・C方式)・公募推薦・商業科・工業科・総合学科推薦などの入試形態について、出願資格や選考方法、受験科目や検定料などの概要を説明した。

その他のプログラム

オープンキャンパスでは、この他にも、キャンパスツアーやコンピュータ体験、スタンブラーなどの多彩なイベントが行われた。在学生とのフリートークの会場(B館2階)では、各学部の学生が、会場を訪れた高校生たちと楽しく話しかけ、学部による学びの違いや、コース制、受験対策に関する質問などに、在学生ならではの視点と体験をもとに丁寧に答えていた。今年度のオープンキャンパスは、第2回が8月



5日(日)、第3回が8月19日(日)に開催された。最終第4回は10月14日(日)に開催される予定。

学部のまとめ 学生から見たこの学部

人間科学部の「学部のまとめ」学生から見たこの学部」では、山口夢子さん(3年)と岡本友恵さん(3年)が「面白い授業や将来の目標に役立つ授業が多い」「黙って聴く授業だけでなく実習が豊富で、先生が丁寧に指導してくれる」と、学問だけでなく、人間性について追究する人間分野、人間を心と体と社会から研究していくと説明。3つのポイントで、4年間の学びの流れ、取得できる資格などの特徴を説明した。



2012年度 第1回 課外活動表彰式

7月12日(木)、「2012年度第1回課外活動表彰式」が本学J館3階第1会議室にて行われました。顕著な活躍をし、本学の名誉に貢献したことをたたえ、理事長、学長、大隈体育会事務局長から励ましの言葉がかけられました。また、受賞者が今後の決意を表明しました。

表彰された学生の皆さん、おめでとうございます。表彰者および表彰実績は右のとおりです。



団体	表彰内容
アイススケート部	関西学生選手権大会団体優勝
自動車部	全関西ジムカーナ選手権第3位
バドミントン部	大阪学生バドミントン選手権男子1部2位
陸上競技部	全日本大学駅伝対校選手権大会 関西予選第3位 全日本大学駅伝出場
準硬式野球部	関西トーナメント優勝 全日本大学準硬式野球選手権大会出場
ハンドボール部	関西学生ハンドボール春季リーグ1部男子第3位
映画研究部	冬季シネック上映会第1位、第2位
個人	
坂本 侑馬	関西学生選手権男子500m優勝(アイススケート)
上村 翔太	関西学生選手権男子1000m優勝、500m3位(アイススケート)
	全日本選抜ショートトラック選手権総合5位(アイススケート)
吉川 政志	関西学生選手権男子1500m優勝、男子3000m優勝(アイススケート)
真木 倫志	関西学生選手権男子1500m3位、選手権男子3000m4位(アイススケート)
松下 良祐	大阪学生陸上競技対校選手権大会5000m1位
谷本 旭洋	大阪学生陸上競技対校選手権大会10000m1位
大山 健太	大阪学生陸上競技対校選手権大会10000m2位
溝淵 大輔	関西学生陸上競技対校選手権大会ハーフマラソン2位
森 基	関西学生ハンドボール春季リーグ1部男子ベストセブン
永井 雄也	関西学生ハンドボール春季リーグ1部男子得点王
狩野 智美	関西学生弓道選手権女子個人第3位
生田 岳暉	近畿六大学準硬式野球春季リーグ戦最多勝利・敢闘賞
原 明大	近畿六大学準硬式野球春季リーグ戦打点王
柳生 純平	近畿六大学準硬式野球春季リーグ戦ベストナイン
上田 陽亮	近畿六大学準硬式野球春季リーグ戦ベストナイン
	大阪学生選手権水泳競技大会100mバタフライ2位
笹井 俊宏	大阪府選手権水泳競技大会50mバタフライ優勝(大会新)
	第11回関西学生夏季公認記録会50mバタフライ優勝(大会新)

チャンプ本に古川さん

プレゼンと質問の終了後は挙手による多数決審査が行われ、今回の読みたい本No.1(チャンプ本)は、古川香織さん(人間科学部)が紹介した「絶望の国の幸福な若者たち/古市憲寿著」に決定。古川さんは「前回も参加したが、緊張のあまり良いプレゼンができず後悔が残った。2回目でチャンプ本に選ばれれば」と受賞の喜びを嬉しそうに語った。

ビブリオバトルの準備や進行には本学学生が協力しており、司会を務めた吉田聖さん、撮影を担当した加古資弥さん、受付担当の畑中啓希さん(いずれも経済学部)らが最後に紹介され、会場から盛大なねぎらいの拍手が送られた。



本学図書館が主催する第2回ビブリオバトル(知的書評合戦)が、6月29日(金)午後0時50分から、新図書館1階スタディエリアで行われた。今回の発表者は6名。自身が紹介する一冊の本について、その本を選んだ理由、ストーリーや登場人物、表現の特徴、作者の意図などを、身ぶり手ぶりを交えて懸命にアピールした。本自体の魅力もさることながら、観客にその本を読みたいと思わせる話術も問われるだけに、本のなかで印象に残った言葉を引用したり、その本の内容と実社会の現象をリンクさせるなど、それぞれに工夫を凝らしたプレゼンテーションを展開。観客や他の発表者からの鋭い質問にも、本をしっかりと読み込み理解していることが感じられる堂々の発表ぶりだった。



盛り上げよう!

学生3チームが記念企画プレゼン

創立80周年

昨年に続く、創立80周年記念事業・学生企画プレゼン提案会の第1回が6月9日(土)、午前10時からB-41教室で行われた。司会進行を務めたのは80周年記念事業サポーターの一人、経営学部4年の森重俊紀さん。徳永光俊学長、草薙信昭副学長、吉野忠男経営学部部長補佐、宮武記章情報社会学部部長補佐をはじめとする8名の教職員が審査員を務めた。

まず徳永学長が「80周年を学生が祝えることが大事。新しい力を皆さんで表現してほしい。楽しくやっていきましょう」とあいさつし、応募チームによるプレゼンテーションがスタートした。



学生のプレゼン風景

最初に「Deba大阪」が「子どもが大いに盛り上がり元気いっぱい」の学生たちの笑いに向まれた。この日の提案会は草薙副学長が「今回も熱のこもったプレゼンと質疑応答だった。大切なのは実現へのプロセス。それにより学生も教職員も成長していく」とあいさつして締めくくった。



A班



B班



C班



D班



E班



F班



G班



H班



商店街関係者様



学生目線で

土居商店街を元気に!

経営学部吉野ゼミ
2年生が研究成果を発表

本学の近隣地域にある土居商店街(守口市)の活性化をテーマにした、本学経営学部2年生による「研究成果発表会」が、商店街の理事など関係者を招き、7月19日(木)午後2時35分からJ館・会議室で開かれた。発表したのは、スペシャリスト養成をめざす「コンサルティングコース」で開講されている「コンサル基礎演習」の受講生39名。今年4月から8グループに分かれて現地調査を行い、大学生らしい自由な視点とユニークな発想で活性化対策を練り上げてきた。



商店街の関係者と話す学生

プレゼンテーションの時間は1グループにつき8分間。テーマは、A班「商店街を活性化しよう」、B班「HP作成大作戦」、C班「土居商店街改善プロジェクト」、D班「土居商店街の理想のお花屋さん」、E班「土居レジャー再生計画」、F班「土居商店街への提案」、G班「精肉店改善案」、H班「土居商店街の仙寿堂」。



メディア情報

本学の学生、教員の取り組みがさまざまなメディアに取り上げられました。詳細は大学Webをご覧ください。http://www.osaka-ue.ac.jp/

新聞掲載

WEB掲載

テレビ

掲載日	媒体名	内容
4月20日	毎日新聞	大経大生が清掃活動
4月22日	読売新聞	大経大で実践力の授業
4月24日	朝日新聞	食べてニャ はてにゃん。
4月24日	読売新聞	食べて「大経大ケーキ」
4月25日	毎日新聞	Visit研究室 足で解く「行列のナゾ」
4月25日	毎日新聞	学園情報 学生企画「プチ・フランスとのコラボ商品」販売
4月25日	産経新聞	食べて大経大スイーツ
4月30日	毎日新聞	「大経大スイーツ」どうぞ
5月 4日	大阪日日新聞	大経大「はてにゃん。」ケーキ
5月 7日	製菓時報	コラボスイーツを販売
5月22日	菓業食品新聞	大経大、プチ・フランス コラボでケーキ発売
5月30日	毎日小学生新聞	「はてにゃん。」文房具セット
5月31日	毎日新聞	Visit研究室 素朴な疑問 自主性重んじ調査
6月 2日	大阪日日	大経大80周年で「黒正塾」を開講
6月 5日	産経新聞	創立80周年記念講演会 大阪経済大が参加者募集
6月27日	産経新聞	「大経大キッズカレッジ」子供たちに野球の楽しさを
6月27日	日刊工業新聞	今こそOSAKA 北部産業界はてにゃん。スイーツ×プチ・フランス
6月27日	スポーツニッポン	野球教室
6月28日	朝日新聞	大経大野球部ちびっ子教室
6月30日	読売新聞	大学関西フォーラム 第11回シンポジウム
7月 5日	読売新聞	大学の實力・教育力向上の取り組み
7月30日	日本消費経済新聞	商店街活性で学生がプレゼン 柔軟な発想で提案
7月30日	日経産業新聞	インターンシップ進化論 全13回の講座で事前研修
8月 1日	毎日新聞	大経大生の学生が八つの活性化案
8月 9日	日本経済新聞	大阪経済大学創立80周年記念講演会 トークセッション
4月20日	フライング・ポストマン・プレス	大阪経済大学のキャラクター『はてにゃん。』をモチーフにした洋菓子
4月24日	asahi.com	はてにゃん。スイーツに 大経大3人が企画
4月24日	YOMIURI ONLINE	食べて「大経大ケーキ」 創立80周年記念 学生が地元店とコラボ
4月24日	YOMIURI ONLINE	大学マスコットでケーキ3種を共同開発
4月25日	MSN 産経ニュース・YAHOO! JAPAN NEWS	食べて 大経大スイーツ 学生3人、地元店とコラボ 大阪
4月27日	日本食料新聞 電子版	大経大女子大生と地元洋菓子店のコラボスイーツ誕生
4月30日	毎日jp・YAHOO! JAPAN NEWS	大経大スイーツ：どうぞ 創立80周年で学生ら共同開発、洋菓子店と販売/大阪
5月 5日	ウーマンライフWEB版	大経大女子学生×「プチ・フランス」のコラボスイーツ 5月13日まで期間限定発売!
4月30日～5月6日	J:COM「週刊情報スロット」	大経大スイーツコラボ
7月19日	テレビ大阪ニュースBIZ	土居商店街活性化
8月 9日	朝日放送キャスト	「若者を苦しめる奨学金の実態」でコメントが取り上げられました

第3回ZEMI-1グランプリ開催のお知らせ

日時: 2012年11月2日(金)
開会式 9時30分
予選開始 10時00分
場所: B館
テーマ: 「creation ～創造～」

2012年度学生奨学論文を募集します



日頃の勉強の成果を論文で発表しませんか。

個人でも、グループでも応募は可能です。皆さんの応募をお待ちしています。
提出期間: 9月24日(月)～10月4日(木) 17:00まで
お問い合わせ先: 大阪経大会 事務局 (J館3階 研究支援課)
詳細は大阪経大会ホームページをご覧ください
http://www2.osaka-ue.ac.jp/gakkai/

80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
80周年学生企画
経営学部 吉野忠男ゼミ
経済学部 伊藤大一准教授

スポーツ文化振興室

クラブに所属して活動している学生の履修から就職までを、学生生活を含めてトータルで支援する「スポーツ文化振興室」が昨年12月1日、学生部内に設置された。まずはスポーツAO入試で入学した学生を対象に、意識を高めるためのアスリートリーダー講習会などを実施。競技面はもちろん、生活態度においてもリーダーとして活躍できるようなサポートしていくという。

そのスポーツ文化振興室による支援の大きな柱の一つは履修指導。「スポーツAO入学者を中心にスポーツ文化振興室で成績配布を行い、クラブ活動と学業が両立できるよう、授業への出席や卒業に向けての単位取得状況などもチェック。練習と両立できる履修の組み



を実施し、必要場合は保護者やクラブの現場指導者にも情報を提供して対策を講じ、卒業率の向上につなげてい

は就職に強いという現状もあり、クラブ学生ならではの強みを押し出す面接対策を重視しています。またクラブ学

北浜
実践経営塾オンラインワン技術で変身
シャープ町田勝彦氏が講演

3年目を迎えた「北浜・実践経営塾」の2012年度・第1回が、6月6日(水)、北浜キャンパスで行われた。「北浜・実践経営塾」は、各界・分野の著名な経営者やエキスパートを講師として、経験に裏打ちされた経営哲学や企業経営に有益な情報を学べる4回シリーズ(定員80名)の経営学講座。テレビなどのメディアで活躍中の岡田晃氏(本学客員教授がコ

「新しい生活進化の価値提案」——を目標としていると説明。「オンラインワン技術にこだわる『創意の遺伝子』で新たなシャープに変身していきたい」と結んだ。



岡田晃氏



町田勝彦氏

迎えた。講演テーマは「創意のモノづくりでグローバル市場へ」。シャープは今年3月、台湾の大手電子機器メーカー「鴻海(ホンハイ)精密工業」との資本提携に踏み切り、大きな注目を集めたばかり。町田氏はシャープが2012年3月期の連結決算で3760億円の最終赤字を計上したことに触れたうえで、「失速した日本の家電業界」の現状や、シャープの業績悪化の要因などを統計データで分析。今後は鴻海との協業をはじめとし

た「自前生産からの脱却、安心を売るための『地域完結型経営』、自分たちのコア技術を生かし医療分野・教育分野・農業分野などを視野に異種の技術を組み合わせる『新しい生活進化の価値提案』——を目標としていると説明。「オンラインワン技術にこだわる『創意の遺伝子』で新たなシャープに変身していきたい」と結んだ。

講演後は受講者との質疑応答が行われ、最後にコディネーターの岡田氏が「日本のモノづくりの環境には悲観的見方もあるが、新」と感動を提供し温故創新と製販一体」。

りますよう心よりお願い申し上げます。また、ご寄付をいただいた方には税制上の優遇措置もごございます。本学は、文部科学省から寄付金の募集について、税額控除に係る証明書および特定公益増進法人の証明書の交付を受けております。お寄せいただきましたご寄付は、小口のご寄付に対しての減税効果が高い税額控除または所得控除のいずれか一方の制度を選択し、税法上

の優遇措置を受けることができます。いずれの場合も所轄の税務署での確定申告が必要です。確定申告に必要な書類は本学への入金を確認した後に送付いたします。なお、領収書の発行日付は、寄付金が本学に入金された日となります。詳細につきましては、本学創立80周年記念事業ホームページをご覧ください。

創立80周年記念事業基金状況報告(2012年9月13日現在)

区分	新図書館		指定なし		振興基金		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
合計	1,043	87,972,232	643	69,831,764	486	42,679,200	2,172	200,483,196
※指定なし：新図書館へ使用する旨、募金趣意書に記載済み							達成率	25.1%

創立80周年記念事業募金にご協力を

平素は、創立80周年記念事業に対し、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、これまで繰り返しKEIDAI DAYSで皆さまにご寄付をお願いいたしましたところ、多くの方よりご厚志をお寄せいただきました。改めて御礼申し上げます。

募金の対象事業は「新図書館建設」と「学生のための『学術・芸術・スポーツ振興基金の創設』」で、さらなる教育環境の充実を目指すものでございます。なお、募集期間中に10万円以上のご寄付をされた方(累積額)には、銘板にご芳名を掲載させていただきます。なにとぞ記念事業募金の趣旨をご理解いただきまして、格別のお力添えを賜



第1回 宮本又郎氏

調。なぜ大阪が「天下の台所」といわれるようになったのかについて、地理的要件▽畿内の高い工業生産技術▽地域間の分業の成立という3つの観点から説明した。

さらに江戸後期から幕末・明治維新にかけての衰退期と、その後の商業・金融機能の再興期、第一次大戦後の「大大阪」といわれた時代、第二次大戦後の高度成長期、大阪経済の地盤沈下の現状などをデータで紹介。

大阪の特質として、市場経済原理に対する信奉と権力嫌い、民間活力の尊重、大量生産・大量販売、永続性の重視などを列挙して締めくくった。

大阪経済の歴史的眺望 ー伝統と革新の系譜ー

第1回は徳永光俊学長によるあいさつの後、日本近世・近代の経済史および経営史研究の第一人者である宮本又郎氏(本学客員教授)が登壇し、「大阪経済の歴史的眺望ー伝統と革新の系譜ー」のテーマで講演した。

宮本氏は都市としての大阪について、古代の「政治都市」難波宮から中世の大坂本願寺を軸とした「宗教都市」へ、そして秀吉による武家の「政權都市」から近世・現代の「経済都市」へと移り変わった歴史的系譜を紹介。大阪が常に変遷を繰り返してきた町であるとの認識を示した。



黒正塾 第14回寺子屋

ものづくりの歴史学

関西経済をテーマに「黒正塾・寺子屋」

本学創立80周年記念「黒正塾 第14回寺子屋」(本学日本経済史研究所主催、本学中小企業・経営研究所協賛)が「関西経済と中小企業過去・現在・未来」を共通テーマに6月30日(土)、7月7日(土)、14日(土)の3週連続で開催された。各回とも午後2時から4時まで本学C館31教室で開かれ、合わせて608名が熱心に聴講した。

第2回

加護野忠男氏

地域に組み込まれた

中小企業



第2回は経営学者として著名な加護野忠男氏(本学客員教授)が「地域に組み込まれた中小企業」というテーマで講演した。

加護野氏は中小企業を考えるうえで「ビジネスシステム」という視点が重要であると前置き。そのうえで中小企業は地域と深く結びついており、「土着産業」と呼べるとの見解を示した。そして土着産業のビジネスシステムの特徴として、企業家・経営者育成や技術の伝承・革新▽企業の新陳代謝▽適度な競争維持▽企業間協働▽強者の力を制御するーなどの仕組みやルールを列挙した。

具体例として「保守的風土の京都における企業家育成の構図」「不況時の「細胞分裂システム」や船場とも共通する激しい競争を基盤とした東大阪の新陳代謝」「日本酒で有名な神戸・灘における杜氏による技術伝承」「醤油やそうめんの



第3回

植田浩史氏

東大阪の 中小企業集積の 形成と発展



第3回は植田浩史氏(慶應義塾大学教授)が「東大阪の中小企業集積の形成と発展」のテーマで講演し、東京の城南地域と並んで日本の代表的な中小企業集積地域である東大阪地域の明治から平成に至る産業史を概観した。

植田氏によると、関西の製造業の工場は明治期、まず大阪市西部を中心に増え始めたという。しかし、大正期から昭和初期、新規工場の設立場所は大阪市西部の用地が少なくなってきた▽近鉄奈良線開通で電気の使用可能エリアが拡大したーなどの理由で東大阪地域に移っていった。

植田氏は「中小企業集積は偶然生まれたものではなく、いろいろな条件が重なってきた」と話し、さらに戦後の復興期にミシンの部品の規格統一に取り組んだ府立工業奨励館現・府立産業技術総合研究所や中小企業の診断を積極的に実施した府立産業能率研究所現・



府立産業開発研究所の功績などにも触れた。

ただ東大阪地域の事業所数は1983年の1万33カ所をピークに減少が続いているという。

植田氏は「今は中小企業集積の縮小期。縮小は崩壊とイコールではないが、中小企業を支えるための、時代に合った仕組みが必要」と結んだ。

大阪経済大学創立80周年記念講演会

第4弾

3センター・セミナー

本学の社会貢献を担う

3つのセンターによる連続講演会

記念講演会 第4弾は、本学が持つ3つの社会貢献を担うセンター、地域活性化支援センター〔経済学部附属機関〕、経営・ビジネス法情報センター〔経営学部附属機関〕、心理臨床センター〔大学院人間科学研究科附属機関〕による連続講演会を開催します。

主催：大阪経済大学 創立80周年記念事業事務局
協賛：大阪経済大学 エクステンションセンター

第1回：心理臨床センター 10月13日(土) 13：30開演

◇13：35～15：05
被災地の心のケアを考える
ー福島原発事故をめぐるシステム心理行動ー
川畑 直人 氏
京都文教大学 臨床心理学部教授
KIPP〔花届け人・京都〕代表

◇15：20～16：50
こころとからだの健康
ー身体心理学の立場からー
春木 豊 氏 早稲田大学名誉教授

第2回：地域活性化支援センター 10月20日(土) 13：30開演

◇13：35～16：50 (予定)
東日本大震災からの教訓
ー被災地からのメッセージー
【司会兼パネリスト】

末村 祐子
本学客員教授・大槌町参与
元尼崎市企画財政局参与
【パネリスト】
芳本 竜一 氏
大阪府危機管理室参事
林 直子 氏
箕面市総務部総務課 課長補佐

第3回：経営・ビジネス法情報センター 10月27日(土) 13：30開演

◇13：35～15：05
不動産証券化ビジネスと法
橋谷 聡一
本学経営学部 ビジネス法学科専任講師

◇15：20～16：50
動揺するユーロ、危機の本質と今後の展望
岩本 沙司
本学客員教授
オフィス〔W・I・S・H〕代表

募集概要 申込締切…2012年10月3日(水)必着 お申込先…エクステンションセンター
ホームページをご覧ください。http://www2.osaka-ue.ac.jp/extension/